



シリーズIII 『ピエピエ 絵本だより』

坂本朋子 (大阪市立喜連西小)



『ぎょうれつ ぎょうれつ』 マリサビーナ・ルッソ 絵と文 青木久子 訳 徳間書店 出版

家にあるものをぐんぐんと並べて部屋から部屋へと進んでいきます。その間、何度も母親に呼ばれるのですが「サ

この最後のくだりを読み聞かせたときの、私が受け持っているかすくの満面の笑みが忘れられません。かすくんはいつも「だめよデービット」(評論社)を求めているので、毎日読み聞かせていました。

我が家の三人娘は部屋中におもちゃなど色々並べて遊びます。毎回片づけが大変です。ついぎゃーぎゃー怒ってしまいます。

「サム」が積み木で遊ぼうとしていると、母親から昼食に呼ばれます。「ちよっとまって」と答えてから「サム」は積み木を並べ始めるのです。「ぎょうれつ ぎょうれつ」の始まりです。積み木、本、おもちゃ、くつ…

「サム」は「ぎょうれつ」に夢中です。真剣です。最後は自分も「ぎょうれつ」のパーツになって母親のいる台所に到着します。「ぎょうれつ」をやりきって嬉しそうに「はいのサム」を「ほんと、すごいわね」と抱き上げてから今度は呼ばれたらすぐ来るようにと注意をするのです。「サム」の返事は「おかあさん、だいすき！」です。

今回紹介の絵本を抽選で1名の方にプレゼント。ハガキがEメール(daiyos.jp)に解答氏名・住所・職場名を書

叱る前に大切なこと

「サム」が積み木で遊ぼうとしていると、母親から昼食に呼ばれます。「ちよっとまって」と答えてから「サム」は積み木を並べ始めるのです。「ぎょうれつ ぎょうれつ」の始まりです。積み木、本、おもちゃ、くつ…

この最後のくだりを読み聞かせたときの、私が受け持っているかすくの満面の笑みが忘れられません。かすくんはいつも「だめよデービット」(評論社)を求めているので、毎日読み聞かせていました。

実践にすぐ役立つ 先輩のアイデア

何森 真人(岸和田市立春木小)

~作り方の工夫や とりあげ方の工夫で 授業に使える~

チョコレートをつくりかた

材料・道具

- ・カカオマス 50g
- ・カカオバター 100g
- ・粉糖 40g
- ・全脂粉乳 40g
- ・大きなバケツ(洗剤のもの)
- ・湯せん用のボール
- ・ヘラ(スプーンでもよい)
- ・はかり
- ・紙ざら
- ・ふきん
- ・温度計
- ・ポット(お湯をわかす)
- ・チョコレートの型

カカオマス・カカオバター・全脂粉乳は、スプーンで手に入りにくいので、お菓子材料のお店やインターネットで見つけて下さい。

つくりかた

- ①カカオバターを湯せん用のボールの中に入れ、湯せんです。(湯温は50~60度)

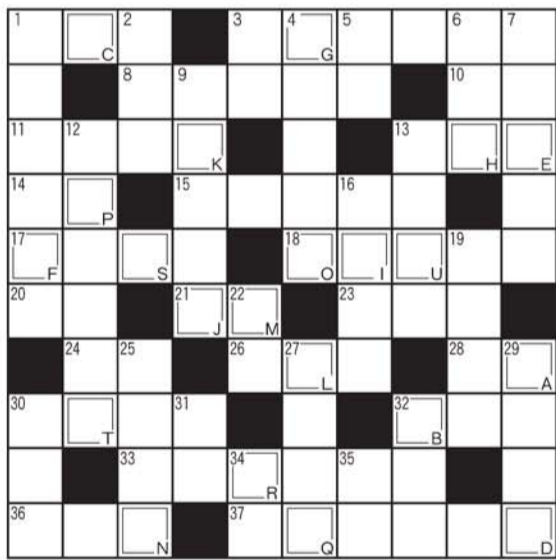


味をみながら ③、④の量を考慮して入れよう。

- ②カカオマスを少しずつ①に入れます。
- ③全脂粉乳を少しずつ②に入れます。
- ④粉糖を少しずつ③に入れます。
- ⑤型に流しこんで固めたり、そのままクラッカーなどで砕いて食べてもOK。バナナにつけてみるとチョコバナナになるよ。

① カカオマスの量だけ決めて、カカオバター・粉糖、全脂粉乳の量を考え、おかしに含まれる。砂糖や脂肪の量を考える授業に!

✂カット 荒木 智子(岸和田市立山直北小)



出題 樽谷 利浩さん

お年玉プレゼント 20名にクオカード

- ①「いろは」が代表的な正月の遊び
- ②今年1月11日
- ③大変な人出、○○○○○○の誘導にしたがってね
- ④「視、○○開発
- ⑤開けた視野、○○○○がよい
- ⑥NY、自由の○○○○
- ⑦高層の建築物
- ⑧アルドラーの「車輪」
- ⑨このことを言つと鬼が笑う?
- ⑩民族特有の○○○○料理
- ⑪ウイット
- ⑫神社などに飾られる○○
- ⑬かぶりの酒樽
- ⑭「いやー」というマイク
- ⑮観光など
- ⑯冷蔵庫、テレビなど

大阪教育クロスワード

多数のご応募 ありがとうございます

A~Uまでの文字をつないで言葉をつくらせてください。ハガキ(題名横に宛先記載)またはEメール(mato@daiyos.jp)に解答氏名・住所・職場名を書

①鏡餅を雑煮にして食べる正月行事

②船、○○○探し

③「タテのカギ」

④先祖から語り継がれた話

⑤カクテルのベースにする無色透明の洋酒

⑥苦勞すると増える?

⑦金づる

⑧春の訪れを知らせる強い南風

軍事同盟・基地なくそう



全国からのべ3200人が参加

「みんなでつくろう! 憲法輝く非核・平和の日本」を掲げ、09年日本平和大会が12月11日から3日間、神奈川県内で開催されました。

「建国記念の日」 2・11府民のつどい 不承認

日時 2月11日(木・休)午後1時30分開会
会場 大阪府教育会館(たかつガーデン)8F
講演 「真実により未来をひらく」
—「韓国併合」100年と NHKドラマ「坂の上の雲」を考える—
中塚明さん(奈良女子大学名誉教授)



「文科省が各教室にパソコン設置、学校に1台電子黒板設置」とある日管理職が報告。思わず「機械より人間増やしてほしいわ!」の言葉が出た。30人以下学級の実現を。(大阪市・南港桜小 早瀬満夫)